

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 8 年 4 月 20日

岩手県知事 達増 拓也 殿

提出者

住 所 岩手県九戸郡洋野町大野34-66-507

氏 名 株式会社 明戸商事

代表取締役 太内田 勉

電話番号 0194-77-2669

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	明戸農場
事業場の所在地	岩手県九戸郡洋野町大野34-66-507
計画期間	2026年4月1日～2027年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	養豚業
②事業の規模	母豚数380頭
③従業員数	8 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	ふん― 発酵処理(委託)― たい肥化(委託)― 売却(委託) 尿― 廃水処理(委託)― RO膜処理(委託)― 蒸散処理(委託) 活性汚泥法 廃水処理(自己)― 処理水― 再生利用(洗浄)

(日本工業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
社長 (廃棄物管理責任者) 農場長 (廃棄物処理等責任者) 産業廃棄物担当者			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2025年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	排 出 量	4,795 t	t
	(これまでに実施した取組) ふんに水分が入らないように管理 尿に固形物が入らないように管理 流出しないよう管理		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	排 出 量	5,000 t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記事項の継続		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（2025年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	4,000 t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿（尿）	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	4,000 t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（2025年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	全 処 理 委 託 量	795 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	795 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 委託基準に従い、適切に処理されるように定期的に処理状況を確認 している		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	全 処 理 委 託 量	1,000 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,000 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	定期的な処理状況確認の継続		
	※事務処理欄		